

全科協ニュース

1986年1月1日発行
(通巻第87号)

全国科学博物館協議会

東京都台東区上野公園
国立科学博物館内

〒110

Tel. 03-822-0111(大代)

おもな内容：◇今年の抱負 ◇情報の対外サービスについて 五島プラネタリウム ◇全科協 北から南から

年 頭 に あ た っ て

全国科学博物館協議会

理事長 諸 澤 正 道

全科協の皆さん、新年おめでとうございます。

各会員館園におかれては、今年もさまざまな企画のもとに新たな飛躍を期しておられることと存じます。心から御発展をお祈りいたします。

さて、昨年10月には、第2回目の全科協主催によるアメリカ・カナダの科学系博物館の視察研修を実施しましたところ、参加された方々から、大変有意義かつ充実した研修ができたとの報告があり、うれしく思っております。短い時間の中で、各訪問館において展示のあり方、運営上のことなど、専門職員から詳しく説明を聞いたり、相互に意見交換をする機会を持つことができたようで、得るところが大きかったと思います。その具体的なレポートは、いず

れ本ニュースでも掲載する予定ですので、御参考にしていただけるものと思います。

なお、このような海外視察研修を本年も実施して欲しいとの希望も寄せられておりますので、検討してみたいと思います。

今年は、全科協15周年に当たります。会員館園も124に増えました。科学博物館に対する人々の期待が年々高まる中で、全科協加盟館園が相互の連携を強め、情報を交換し合って、より充実した教育活動を展開していかなければならないと考えております。

今年も一層努力したいと思いますので、皆様の御協力をお願いします。

今 年 の 抱 負

新年おめでとうございます

釧路市青少年科学館長 寺 島 敏 治

今年も科学と科学技術の啓蒙普及や理科教育の振興に寄与したい。分野が広く奥も深く時代は先へ走る。しかし館の特性を生かし、職員スタッフの総力で微力ながら今年も使命達成に努力したい。去年第10回特別展「電気・通信展」をNTTの協力で開催。ニューメディアの講演会、工作教室、電話教室等を実施し、常設科学展示にニューメディアの分野を加えた。今年も時代にあった特展と展示室内容改修に努力したい。東京以北の館でオリジナルな86年版天体ブックを出し普及に努めたい。

斎藤報恩会自然史博物館専務理事 斎 藤 温 次 郎

情報化時代である。あらゆるメディアを通して洪水のように知識という情報があふれているが、本当に価値ある情報の選択がむずかしい時代である。科学が日常生活に深くかかわっている今日、整理された、確かな「モノ」で知的情報を提供し、一般市民の求める科学的探求心を退屈させることなく、いかに自分のものとして貰えるかが、過去を解いて、未来を創造させる、自然科学系の博物館の使命と考え、情報化の先端をゆく、博物館を目指したい。

 今 年 の 抱 負

新年おめでとうございます

秋田県立博物館長 畠山 芳 郎

昨年12月末に、総合博物館として特色ある地域展「能代・山本一川と山のくらし」を開展し、新年をむかえることができました。

この展示は、新しく導入した三面マルチスクリーンなども使用した親しみのある展示になっています。また、7月から8月にかけては、特別展「世界の貝」を計画しているところです。

開館12年目をむかえた本館は、いよいよ県民の生涯学習機関としての役目を果たすよう改善、充実に努めてまいりたい所存であります。

山形県立博物館長 大友 義 助

今年は春に特別展「絵馬にみる 生業と祭」、秋に「山形の中世陶器(仮)」を予定しています。この他、企画展の開催、資料整理・調査研究・教育普及の諸事業を計画しておりますので、厳しい予算の中ですが、例年になく、多忙な年になりそうです。諸館園・先生方の御指導を賜わりたく、お願い申し上げます。

いわき市石炭化石館長 御所脇 八州男

当館は「太古の遺産と甦える炭鉱」をキャッチフレーズに開館いたしまして2年目に、入りましたが、石炭と化石をドッキングした、ユニークな施設として大変好評です。

今後は、市内より発掘されている新種の化石等を展示し、一層の充実を図ると共に、未来にも目を向け新エネルギー等の展示施設も新設し、太古のロマンから未来のロマンまで、一貫した施設の計画を進めてゆく所存です。

浅間火山博物館長 村 井 勇

最近における科学の進歩は実に目覚ましく、学説が次々と書きかえられている。当館は開設以来18年を経ており、改修して最新の学説を紹介したが、今日ではそれも一部修正の必要が生じている。科学博物館の宿命ともいえるが、最初から、内容を簡単にさし変えられるようなプランニングをしておけばよかったと悔んでいる。

今後、特別展を上手に利用して、内容を補っていく必要があると考えている。

千葉市立郷土博物館長 近 田 衛

いよいよハレー彗星フィーバーも佳境に入っております。当館でも昨年夏、早々と特別展「ハレー彗星展」を開催し、多数の方にご来館いただきました。今年も引き続き、プラネタリウムの投影や「小・中学生宇宙展」で、ハレー彗星をとりあげます。また今後もタイムリーな話題とともに常に最新の情報を市民の皆様にご提供できるよう、職員一同、自己研鑽に励み、あわせてバックアップシステムの充実に努めてゆきたいと考えています。

科学技術館長 久 保 俊 彦

昨年は、科学技術界の一大イベントー科学技術万国博覧会ーに2千万からの方が足を運び、科学技術に対する関心が大いに盛り上がった年でした。

今年は、この関心の盛り上がり定着させ、科学技術に対する深い理解へとつなげていくべき年だと言えよう。

当館は、このような要請に沿って、展示資料の充実に努めることはもちろんのこと、時宜にあったイベントなども計画して、できるだけ多くの方々に足を運んでいただき、当館に親しんでもらい、満足していただくような活動を鋭意進めてまいりたいと考えます。

交通博物館・交通科学館長 中 村 卓

本年は日本に鉄道が創設されて114年目となりますが、偶々国鉄の経営形態を根本的に改革する時期が迫っております。大切な鉄道文化財を豊富に保管している両館においては、国鉄の経営形態がどう変わるも、私共の社会的役割には変化はないと確信しております。

交通博物館においては、いつも楽しい博物館として、魅力あるものに万全を期することは勿論のこと、特に新型新幹線電車の運転シミュレーター及び航空機室の充実に努めます。

交通科学館においても同様に整備を図りますが、新春早々には長距離電車の始祖“湘南電車”2両を収容し、この機に屋外第二展示場の常時開設をいたします。保管車両は20両を数えますが、さらに今後も収集に努め、鉄道の来し方行く末をも学べる場として、充実を期するよう努力いたします。



 今 年 の 抱 負

通信博物館長 神谷和郎

この春3月には、約20年ぶりに3千万円をかけた象徴展示物（発光ダイオード工作物）が完成します。昨年は春の「前島密（日本近代郵便の父）生誕150年記念展」、9月の「ふるさと小包コンクール展」など注目を集めた催物も実現できました。

本年も引続き、改装なった常設展示物を基盤に、大手町という絶好の立地条件や、駐車場（大型バス20台分）を充分生かして、ニューメディア時代にふさわしい通信総合博物館（郵便、貯金、簡易保険、放送、電信電話、国際通信など）のあり方を求めて、職員一丸となって進みたいと念じております。ご支援下さい。

電気通信科学館長 白根禮吉

本年は、多様化する情報通信を、ハード・ソフト両面にわたり、じっくり掘り下げて皆様に見て頂く年になります。

昨年4月に新生NTTが発足し、当館は、それにふさわしい活力をもって、多様化する情報通信事業を克明にご案内することが要請され、それに応えるつもりです。情報通信の軸は、高度情報通信システム（INS）にあり、市民や企業にどう使いこなして貰うかを試す「社会的役割」中心の年になります。

当館は、展示と、展示以外にも、ユーザー向けの新しいフォーラムを展開すると共に、これらを支える調査研究にも配慮しております。皆様の御鞭撻をお願い致します。

NHK放送博物館長 土屋興三

世界で最初の放送専門の博物館としてスタートした当館は、今年3月に満30歳になります。当館では、これを記念して、開館30周年特別展示・催物、さらに30年史の発行を計画・準備中です。皆さまにいつそう親しまれる博物館を目ざし、鋭意努力してまいりたいと存じます。

“放送のふるさと愛宕山”を訪れる方々も年毎に増え、春には累計200万人目のお客さまを迎えることができそうです。

放送60年のあゆみを、目と耳で確かめていただくよう、皆さまのご来館を、館員一同心からお待ちしております。



労働省産業安全研究所（産業安全技術館）

前 郁 夫

近年、生産技術の変革が進行し、とくに産業用ロボットやマイクロエレクトロニクス関連機器の著しい普及に伴い、新しい型の労働災害の発生がみられ、これらに対する安全技術の必要性が高まっております。

このような情勢に対応して、昨年、当館の1階に、メカトロ機器の安全技術を中心に全面改装を行いました。これにより、当館の使命がより大きく果されるものと期待しております。

本年は、新しい課題となっております高年齢労働者の安全対策に関して、展示を設置する計画を樹てております。

(財)目黒寄生虫館長 亀谷 了

昭和59・60年度に寄贈をうけた図書が三組ある。第一は森下薫博士の医学史関係の図書を中心に数百冊、第二は五島清太郎博士の「五島文庫」これは別刷5000部以上を含む貴重な資料、第三は山田信一郎博士の「山田文庫」である。第二第三は東大医科研に保管されていたものである。いずれも整理し、文献カード作り、公開までには大変な仕事量となるであろう。しかし、どうしてもやらねばならぬ作業だと思っている。

たばこと塩の博物館長 奥田雅瑞

昭和53年に開館以来、8回目の正月を迎えました。

昨年1月に全面改装オープンした常設展示も、御好評をいただき、入館者数も前年を大きく上回ることができました。それに伴い、入館者からたばこと塩に関する、より質の高い情報を求められる機会も多くなりました。しっかりと研究体制を早く整備し、身近なたばこと塩に関する情報を、広い分野から収集し、提供できるようにしたいと考えております。皆様のご協力をよろしく願います。

天文博物館五島プラネタリウム館長

鏑木政岐

いよいよ本番ハレー彗星の観望の絶好期が3月末に迫った。昨年10月以来、マスコミも加わって、4月中旬までは、我々関連施設は、どこも目まぐるしい日々を送って居られることと思う。従って現時点では、次の計画に入る余裕がないから、当座の暫定予定でスタートし、更に4月以降再考慮をする事にした。

 今 年 の 抱 負

新年おめでとうございます

サンシャイン・プラネタリウム館長

宮 垣 喜代治

いよいよハレー彗星が接近しますので、これに関連した番組や講演会、観望会等、の催しを実施します。他にも毎年恒例となった写真コンテスト等の各種の催しも予定しています。また今年の末にはプラネタリウムコンピュータシステムを大改造し、スクリーン塗替工事も計画しています。

本年は、大変忙しい年になりそうですが、今後ますます努力いたす所存です。どうぞご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

東京都高尾自然科学博物館長 鹿 山 実

昨年に引き続き、パードカービングを含めた野鳥展示コーナーの更新を予定しております。これにより昭和59年度から3カ年計画で進めてきた野鳥コーナーが総て一新されることとなります。このほか、諸施設整備の一環として整備してきた全館照明設備の改修と外壁塗装に引き続き、本年は展示室、講堂を中心とした全館冷暖房設備工事を行う予定で、館利用者のサービス向上を図って参りたいと思っております。

東京農工大学工学部附属繊維博物館長

金 子 六 郎

教育改革が叫ばれ、生涯教育がとらえられているが、臨教審の中間答申には博物館のことが全く触れられていない。「人生五十から人生八十へ」という立派なキャッチフレーズを出しているのだからもっと検討を続けることと信ずるが、全科協としても委員方に積極的に働きかけて頂きたい。又生涯学習の場として博物館が最適な拠点であることを示して行かねばなるまい。従来からの活動をより活ばつ化し、新しい工夫も加えて、生涯学習に協力する所存であります。

神奈川県立青少年センター館長 池 田 茂

科学技術の進歩は、豊かな社会を生み出すとともに、人々の関心に変化をもたらすようになりました。それに対応して、青少年育成もたんに青少年の健全育成から自立・連帯へと新たな展開が望まれています。

当センターも、24年の経験を生かしながら、新たな施策にむかって検討、研究を進めています。青少年が、科学への興味・関心をいっそう高められる事業を進めていきたいと考えております。

神奈川県立博物館長 前 場 廣

当館は昭和62年3月に開館20周年を迎え、特別展、記念論文集、20年史の刊行、展示更新の検討など盛沢山な記念行事が企画されています。

自然系の特別展は夏に「火山と地震」展を目玉とし、ほかに貝類標本「鹿間コレクション」の特別公開も予定しています。自然史情報センターの機能をもった「自然史博物館」の建設は、開館以来の念願でありましたが、本年はより一歩前進させ、本県行政の指針となる「新神奈川計画」に位置づけをしたいと考えています。

横須賀市自然博物館長 田 原 久

建設以来10年余を経過したので、人文博物館新設を機に、57年度から5か年計画で全面展示更新を実施し、61年度で完了する。61年度は付属天神島臨海自然教育園に、約300㎡のビジターセンターを建設し、展示室・レクチャールーム等を整備して、活用の充実を図る。また、付属馬堀自然教育園では蛸などの水生昆虫・植物等のための人工河川が完成したので、61年度は水源拡充工事を実施し、62年度には、ここにもビジターセンターを建設する計画である。

東芝科学館長 佐 藤 繁

今年11月に開館25周年を迎えます。

企業として、進歩する科学技術を早く幅広い来館者に提供することが使命と考え、当館では、高度技術に関心のある来館者には、最先端技術を静かな雰囲気の中で見学してもらい、一般見学者には、最新技術を駆使した理解し易い楽しい参加型の展示で、未来への期待と夢を醸成して頂くべく、展示替え、展示改修を実施しております。本年は特に、重電コーナーを見直し、メカトロを中心とした展示を計画しております。

新潟県立上越科学館・

リージョンプラザ上越支配人 林 勇

開館以来1年半、初年度の反省を踏まえて「子どもたちが楽しく、遊びながら科学できる館に」という願いをこめて、展示、教育普及事業の充実而努力していきたいと考えている。当館は、リージョンプラザ上越に併設され大体育館、アイスアリーナ、コンサートホール等の施設があり、地域青少年の科学、スポーツ、芸術、文化活動の拠点となっている。この特色を生かし、今後も総合的な館活動を展開したいと念願している。

今年の抱負

富山市科学文化センター館長 長井真隆

昨年は理工展示室を「水と雪の世界」として、展示替しました。変化を見せるように工夫しました。可動部分が多くて担当者は、動物園の飼育係りの方のように、こまめにがんばっております。

今年はハレー彗星。天文担当者は、観測、普及活動、レファレンス、プラネタリウムなど、総合的な活動に取り組み中です。

石川県白山自然保護センター所長 浅井孝雄

新年のご挨拶を申しあげるこの時期、当センターの中宮展示館一帯は3m近い雪に埋もれて休館中です。それでも、このあたりを遊動域にしているニホンザルやカモシカなどは春の訪れを待っているはずです。

さて中宮展示館は、60年秋一部改修され、展示スペースが広がりました。ビデオ、顕微鏡等を使用し、来館者自身が触れたり動かしたりして、学習できるように考えました。今春からの新しいコーナーの御利用を。

岐阜県博物館長 廣田照夫

今年5月5日に開館10周年を迎えます。昨年10月31日に入館者数が、待望の100万人を突破しました。

この節目を契機に、館員一同、新しい時代にふさわしい魅力ある博物館づくりを目指しております。

県下唯一の総合博物館としての立場を自覚しつつ、広く県民の社会教育の場として、老若男女いずれの方々にも親しまれ、ご利用いただける博物館活動を進めるとともに、やすらぎのなかで楽しく学んでいただける雰囲気づくりや、「博物館友の会」活動の充実に努力したい。

また、親子がともに楽しく学べる場を積極的に提供し、親と子の心のふれあいの一助にしたいと願っております。

静岡市立児童会館指導主事 池田富夫

昨年改装工事を行い、常設展示物を新規に交通パノラマをはじめ、仕事ロボット、エネルギー、敏捷性テスト機、干潮満潮装置付き磯の生物水槽などを購入しました。特に、交通パノラマには高い人気があり、磁気浮上するリニアモーターカーとパソコンで制御するデマンドバスに関心が集まっています。当館では“科学する心”を柱に、他に期間展示、コンクール、劇場、映画、教室、クラブなどを通じ、子どもたちが科学に興味を持ち、積極的に探究活動を展開していくよう努力していくつもりです。

東海大学社会教育センター

自然史博物館長 波部忠重

当館はまだ創立5年目の若い博物館でありますから会員諸館の御指導をお願いします。恐竜館と地球館からありますが、まだまだ内容を充実させねばなりません。中でも現生生物の展示がほとんどない、早急に実現したく思っています。深海生物で著名な駿河湾をひかえ、海洋学部のある地でもありますのでなおさらです。今年は私の専門分野の貝類の特別展示をする予定であります。

市立名古屋科学館長 佐藤知雄

われわれは希望をもって、平和にして豊かな1986年を迎えたが、世界の国々の中には大災害により肉身を失い、また飢餓の中をさまよいつつ新年を迎えた人は数かぎりなく多い。われわれはこれを思い、国際的な愛情を持って、これらの人々の救済に“手を差し延べ”なければならない。

21世紀に向けて豊かな日本人のなすべき義務はこれである。日本が将来いついつまでも豊かであると誰が保証できるか。

でんきの科学館長 帆高寿壮

名古屋市の中心地、伏見の広小路通りに建設をすすめてまいりました「でんきの科学館」が本年7月20日開館する運びとなりました。

当館は、電気の世界や原理、電気の流れるようすなどを楽しく学んでいただけるよう、最新の映像技術と精巧な模型を中心に、手でふれ参加体験できる展示といたしました。

小・中学校の理科、社会科の校外学習に役立てばと願っております。開館のときには、ぜひご来館くださいますようお願いしております。

神宮徴古館農業館長心得 岩田貞雄

当館では、昨秋念願の神宮徴古館新館が竣工し、11月9日には竣工式を斎行いたしました。新館は鉄筋コンクリート造、地下1階、地上2階で、大型収蔵庫、収蔵庫8室、展示収蔵庫3室、会議室、研究図書室、ロビーホール、化粧室、機械室、事務室関係からなり、本館と調和したルネッサンス様式であります。幡掛正浩前館長が神宮少宮司に栄進されましたので、その後を浅学非才の私がつぐことになりました。今後共御指導の程宜敷くお願い申し上げます。

 今 年 の 抱 負

新 年 お め で と う ご ざ い ま す

放送文化館 池田 達

先行き、不透明観の強い成り行きでありますが大阪では一寸した異変がございました。タイガースフィーバーがそれであります。大阪の狂喜、東京の迷惑と称されましたが、偏に当館では「野球と放送」をテーマに野球放送のハードとソフトに関する展示会を開催中であります。タイガース優勝とは晴天の霹靂であり、興奮致しました。今後も時宜に適した企画をだしたいと思っております。

神戸市立青少年科学館長 佐野 雄一郎

当館は、一昨年4月に開館して以来お蔭様で60万人を超える入館者を迎えることができました。

本年は、科学技術の基礎を主として展示する本館に加えて、応用面をも展示する新館を、昭和62年度末開館を旨として建設に着手いたします。新館が完成いたしますと、御来館の皆様には、今まで以上に、見て、触れて、楽しんで、学んでいただける科学館になるものと確信いたしております。今後ともどうぞよろしく願ひいたします。

生駒山宇宙科学館長 濱根 洋

科学の進展と共に、人々の心から人間性が失なわれて行くように思えてなりません。そこで、本年は原点にたちかえり、美しい星空に「夢と希望と感動」を持った人づくりのための活動を、更に前進させようと考えています。その手初めに、新しい年の初日の出を見る若い人々に、新春プレゼントとして元日早朝より「2001年宇宙の旅」の映画で夢をあたえます。ハレー彗星の回帰を歓迎し、3月からは春季特別展を企画したいと思っております。

南方熊楠記念館長 大西 邦雄

当館は昭和40年4月熊楠翁の偉業を顕彰するために、当時の知事を始め、各種団体の有志により、番所山頂上の土地に建設されました。

現在、入館者は年間7,000名程度になっておりますので、各種団体、小・中・高校、観光協会等にPRをしておりまして、天下の名泉に來遊される方々、わけても、春秋に富む青少年の一人でも多く、当館を見学せられて、南方先生の偉業とその精神を目のあたりにみて、大いに発奮していただけたならばと思っているような次第です。

倉敷市立自然史博物館長 浅沼 昌平

今年は第3回特別展として、秋に「昆虫の世界」ととりあげ、地域内の生きた鳴く虫を組み入れてみようかと思っております。

昨年10月に、全科協企画の「北米科学系博物館視察」へ参加しましたが、いずれの科学博物館も動きを伴う創意工夫が凝らされ、参考になる点が多々ありました。特にニューヨークとワシントンの自然史博物館は、20年ぶりの再訪でしたが、その進んだ変貌ぶりには驚きました。これから先これらを参考に、当館で実現可能なことは何か、今後の課題であろうと考えています。

広島市こども文化科学館長 溝口 二郎

当館は昭和55年5月の開館で、6度目のお正月です。広島市内からの入館者数比率が80%という中で、今年の6月には入館者が300万人に達すると、職員の意気は盛んです。

今年の特別展には、生活に不可欠な「紙」を採り上げる計画です。子供たちが見るだけでなく、活動できる多彩な科学的・工作的な題材の開発に努力をしています。今から、その成果を楽しみにしています。

香川県自然科学館長 大吉 伸

当館はこの15年間、香川県下公立中学校2年生全員を対象とした集団宿泊学習における野外体験学習を指導してきた。小学生に対しては、ときおり申し出があった場合に指導する程度であった。しかし、去年は当館主催として、小学生とその家族を対象とした「よい子の自然観察会」を開いた。春と秋の計2回行ったが、一応の成果を得たと思っている。

本年は、この観察会の内容を一層充実させるとともに、この会の開催の周知を徹底させたいと考えている。

愛媛県立博物館長 岡部 福和

地方の自然系博物館としての使命を果たすため、昨年に引き続き、展示、普及活動として、(1)年5回の特別展、(2)県下5カ所を巡回する移動博物館、(3)親と子の博物館教室を開催し、その内容の充実強化を図るとともに、昭和34年県立博物館創設と同時に発足し、現在会員1500人余の愛媛県自然科学教室の運営の強化を図り、さらにより一層青少年の科学する心を養うために、新たに、(1)少年科学教室の開催、(2)活動グループの育成、(3)青少年科学会議の開催を図っていききたいと思っております。

 今 年 の 抱 負

愛媛亜熱帯植物園長 窪 田 義 直

当園が本年計画した事は県内外テレビ各新聞社等から当園の内容を電話で聞く毎に、花があるか、どんな花があるかと花の事ばかり、又一般の来園者も珍しい樹木には目もくれずに一寸した花があれば美しとの声にいささか淋しい思いがするので、今後花木草花果樹等を導入して四季を通じて花があるように努力したいと考えております。

北九州市立自然史博物館長 太 田 正 道

長年、懸案となっていた国有地、山田弾薬庫跡地の払下げ手続が急テンポで進み始め、その広域公園としての利用計画が策定される中で当館新館の建設計画も具体化の段階に入ります。場合によっては新年度内の着工ということも予測され、大変な年になりそうです。このあわただしい中で、夏には開館五周年記念事業として、中国の友好都市大連市の大連自然博物館と共催で「中国の動物と世界の恐竜展」を開催し、新館建設に向けてムードを盛り上げる計画です。

北九州市立児童文化科学館長 柴 田 修

昨年開館25周年を迎えました。開館当時生れたばかりの人たちも、今青春の真直中。新しい文化、新しい科学を育くみ発展させる原動力となって動き始めています。

子供たちの夢を大きく育て、21世紀を支えていく青少年の期待に応えていく館でありたいと願っております。

今年も厳しい財政事情の中、知恵を絞って楽しく学べるプログラムづくりを目指して努力したいと思っています。

沖縄県立博物館長 大 城 立 裕

当館は総合的な性格をもつ博物館であり、4年前から150㎡の自然室を開設した。その中に、沖縄県の豊かで特異な自然の中から標本763点、写真437点その他合せて1,208点を、生態的に展示してある。

開設してから、限られたスペースの中で展示および資料の充実をめざしてきたが、4年目を迎える今年は、これ等の充実をなお一層図るとともに、目を外へ向け移動博物館、文化講座、自然観察会などの事業を進展させたい。

 情 報 の 対 外 サ ー ビ ス に つ い て

テレホンサービスの一利用法と提案

天文博物館五島プラネタリウム 金 井 三 男

全科協の編集会議で、外部からの多種多様な問い合わせの対処方法として、テレホンサービスを利用する事が話題になったそうです。内容の点から見れば、当館で行っているサービスは、入館案内すなわち開閉館時刻・入館料・常設展や特別展等の紹介を目的としたものではなく、いわば全くの情報サービスです。但し、当月の投影案内等は入れております。

サービスを開始した1982年7月1日から3年以上を経過した現在、1日（サービス時間は24時間オールタイムではなく10時間に限定）当たり150～220着信数を数えている現在、一つの参考になるかと考え、御紹介をさせていただきます。

この種のサービスは、今でこそ横浜子ども科学館その他でも開設され、また東京天文台のハレー彗星テレホンサービスや、NTTの星座情報テレホンサービス等花盛りになりましたが、3年前では、天文情報はおろか、博物館でのテレホンサービスは電話帳で調べる限り、一件もない状況でした。サービスを開始する時に私達が考えた事、というよりも、むしろそれが動機になったと言え

るのは、そもそも従来の博物館活動は内部には向いているけれども、外部には顔を向けていないという事でした。すなわち、実際に入館する人に対しては極めて親切に情報と知識を与えてくれるのに反し、様々な事情で入館できない人（例えば遠隔地にいるとか、仕事の関係で入館時間内に来れない等が理由で）に対しては、実に不親切というより冷たい対応しかしていない、これが博物館を一種偏屈な所、社会活動とかけ離れ、余程の事がない限り身近に感じず、一般社会人の間では話題にも登らないというのが現状ではないでしょうか。その裏返しとして、プラネタリウムは、一般の博物館に対するその様な社会的評価とは違って印象を持たれる為、博物館と見られずに遊技場・映画館とすら見られている点があります。私達は、先ずこの点を解決する為にテレホンサービスを利用してみたいと考えました。

会員の各博物館にも、展示内容その他に関連する様々な情報が入って来るものと思います。また、その様な最新情報だけを提供するのではなく、むしろ一般の人々の関心を意図的に掘りおこす事が、テレホンサービスの可

能性として充分あり得ます。

幸い、最近ではNTTの各種サービスが大変充実し、電話帳、各種パンフレットで、テレホンサービスの紹介が良く目につく様になりました。博物館が行うテレホンサービスが広く知られるチャンスが、以前よりずっと多くなりましたので、ぜひ会員各館で御検討されることをおすすめします。

(1) 当館のテレホンサービスの内容

当館では、テレホンサービスとして現在3本の違った系統のものを一本の回線〔03-407-7509〕で行なっています。

星空情報 その頃の宵空に見える星や星座にかかわる様々な話題を提供します。これを一応基本的内容として、毎週日曜から土曜まで流します。当館の一般投影は、その時期におこる天文現象や天体の紹介を行なうことが比較的多いものですから、テレホンサービスの内容も、一般投影の話題に関連するものを選ぶことが多くなります。けれども、一週単位でテープを交換する場合、それだけでは内容が不足しますので、色々な話題を見つけ出して文案を作成しています。テープ交換は毎週日曜の朝に行なっています。

天文速報 天文情報の大きな特徴と緊急性を要するものに、新天体の発見情報があります。我が国のアマチュア団体では、この種の情報を必要とし、葉書や手紙での情報交換がひんばんに行なわれているところもあります。一部の組織では、会員間でテレホンサービスを利用している所もあります。最近では、ファックスや電話回線とマイコンを利用した情報交換も速報性という意味で、利用され始めました。しかし、誰でも簡単にそして低額の費用で利用できるわけではないことが、現状ではまずい点だと思えます。確実な情報源からの情報であるならば、私達は、より速く一般の人々に発見情報を伝え、より多くのデータを取ってもらい、日本のアマチュア天文学の水準を高めてもらう必要があると考え、天文速報というサービスを実行することにしました。内容は主として、新星・新変光星・新彗星の発見とその後の経過情報、流星群やその他特に注意されるべき天体現象に関する最新情報です。

テープの交換は、情報が入りしだい即時。流

す期間は、内容によって1日から数日。

ハレー彗星ニュース 今年の7月から、特にハレー彗星に関する最新の情報を中心に、随時流しています。期間は数日。

(2) サービス方法と使用機械

毎日（休館日も）13時より23時迄サービスをしています。当初は24時間サービスを計画していましたが、当館には外線からの直通回線が2本しかなく、一般業務にも併用せざるを得なかったことから、スタートは13時になりました。また、当館がある東急文化会館は23時以降、保安上から全館電源が落ちることになっているため、23時以降テープの使用ができません。利用者には、かなりサービス時間帯について徹底してもらえる様になりました。

多い時には、1時間当たり数本の全く無言の電話がかかります私共では無言電話と呼んでいますが、この種の電話には、対策上お手上げのものが多く、こちらから色々な言い方で説明・お願いしても全く無言で終止するものが半数はあります。やっとのことで「はい。」一言でも言ってくれるのは100%やや気が弱めの小学生です。

現在、当館で使用している機械は、いわゆる留守番電話用のもので、パイオニア・アンサホンAF-400、応答録音用カートリッジは、PP252、150秒間です。実際の作動時間は、テープの伸び他で154~165秒程度です。多少テープ自体に当りはずれがあり、録音時から使用不可のものから、着信数4000あるいは録音回数14回をこえる頑丈なものまで様々です。今年度の予算では18本購入しますが、見通しを甘くみたせいか、やや不足気味になりそうです。現在までの着信数の記録は、表①を参照。

(3) 内容について

現在までに星空情報163本、天文速報111本、ハレー彗星ニュース5本送信致しました。内容に関する聴取者の反応を何とかつかみたいと思い、着信した時直接話しかける、テープにアンケートを吹き込む等色々実施しましたが、なかなか反応がうまく取れません。今のところ、着信数の変化で、反応を推定する以外にありませんが、表②でわかる様に、対前年比は、ほとんど毎月上昇しており、1日10時間で着信可能な回数の月間総数（6300~6975本）の、1985年11月現在5~7割に達しています。8割を越える着信は、ほぼ不可能と見えています。

特定の期日に集中する傾向も見られ、特に月食や流星出現極大日前には集中します。表③④参照。また、明るい彗星が出現した時も多くなり、表②中の1983年5月のピークは、IRAS・荒貴・オルコック彗星出現時で

す。

雑誌・新聞・電話帳で紹介された時も急増します。84年5月のものは、電々公社(現NTT)のルンルン・コールに、85年2月のものは学研「6年の学習」に載った事が主原因です。

1985年11月現在1日当たり150本に達しており、今後増加の可能性が大了。ハレー彗星が良く見える86年3～4月を心配している現状です。

以上当館で行っているテレホンサービスの現状について紹介しましたが、全科協加盟の他館園のご参考になればと願います。なお、このテレホンサービスの詳細について必要があれば、お問い合わせください。

主なデータ集計表

① 着信数到達記録

着信数累計	到達年月日	開始日から
0	1982年7月1日	0日
10000	1983年1月30日	213日
20000	8月17日	412日
30000	1984年4月24日	663日
40000	8月11日	772日
50000	12月7日	890日
60000	1985年3月6日	979日
70000	6月2日	1067日
80000	8月26日	1152日
90000	11月中旬	推定
100000	1986年2月上旬	推定

② 月間総着信数

月	1982年	1983年	1984年	1985年
1		979	1151	3218
2		1102	1051	4411
3		1149	1250	3808
4		1009	1610	3211
5		2575	2969	3388
6		1626	2652	3376
7	2175	1449	2893	3563
8	1628	1783	3109	3894
9	1354	1245	2534	2984
10	1522	1167	2363	3826
11	1176	999	2474	
12	1240	1221	2375	

③ 特定期日の着信数

毎年8月10～13日のペルセウス座流星群極大日前後

日	1982年	1983年	1984年	1985年
10	55	82	111	159
11	76	87	82	201
12	62	105	185	193
13	50	71	89	138

④ 最多最少着信数記録

1日最多着信数	231	1985年5月4日	話題： 皆既月食の話
最少着信数	13	1983年4月13日	水星の話

全科協 北から南から

地域展「能代・山本

一川と山のくらし」開催中

秋田県立博物館では、開館以来3年に一度の割で「地域展」を開催している。これは県内の地域を調査研究した成果を展示公開するもので、今回はその第5回目として、「能代・山本」を設定した。会期は昭和60年12月21日～61年6月30日。

能代・山本地域の動脈があった米代川を中心に、地域の特色を紹介し、米代川の舟運、港、山地のめぐみや石造遺物などについて、写真や実物資料を用いて展示している。民俗行事を中心にしたトピックコーナーも設けられている。

〔出版物〕

「楽しい科学教室 一第1集一」

広島市こども文化科学館では、開館以来5年間に実施

した科学教室のなかから10テーマを選び、その内容を紹介した冊子を刊行した。テーマ別に、材料、用具から製作の方法と手順が分かりやすくまとめられている。

製作のための所用時間、対象学年に応じた仕組の解説と活用法なども含まれている。各テーマには、科学教室担当者の工夫が随所にみられ、他館の教育普及活動の計画・実施に大いに参考になるものである。 B 5判44P。

事務局から

○第15回博物館事業研究会を、昭和61年3月中旬に予定しています。テーマは、「展示の基礎—展示とカリキュラム」、会場は国立科学博物館、全科協加盟館園の職員を対象として実施します。内容等の詳細は、別途各館宛にお送りする実施要綱・参加申込書を、ご覧ください。
○本号で紹介したテレホンサービスの例をはじめ、各館園で行っている情報サービスについて、お知らせしたいと思います。全科協加盟館園の情報サービスをまとめて紹介したいと考えています。

○今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

新年おめでとうございます



ビデオカート

ビデオライブラリーシステム
ACL-3000

株式会社 **アサカ**
東京都新宿区新宿 NSビル
〒163 ☎(03)349-1515(代)

ユニークなディスプレイ
企画・設計製作・施工

おおみ
om 大 味

〒116 東京都荒川区町屋6-6-5
TEL. 892-2796(代) FAX 819-2821

確かなかたちで、伝えたい。

私たちは博物館の展示・創造を通して、
明日へのコミュニケーション活動を広げています。

株式会社 乃村工藝社
文化施設事業部

本社:東京都港区芝浦4-6-4・電話03-455-1171代表
事業所/東京・大阪・札幌・仙台・横浜・岐阜・神戸・岡山・広島・福岡・鹿児島・シンガポール・香港

For Nature



INTERIOR/EXTERIOR/DESIGN/EQUIPMENT
ONY KOB0 CO.,LTD.

PHONE: (03)294-4061~4

剥製・骨格・標本
全種製作専門

有限会社 **尼ヶ崎剥製標本社**

〒113 東京都文京区弥生2-71 TEL 03(814)8874(代)

博物館
企画・設計・制作
学研 環境システム部

〒146 東京都大田区仲池上1-17-15
PHONE (03) 754-5621

ホログラム制作展示・ホログラフィカメラ・光学実験模型

ホログラフィ

HOLOART 石川光学造形研究所

〒142 東京都品川区西中延2-15-14 ☎03-785-6044

科学館・
博物館の
展示



企画・設計
制作・施工



京都科学標本(株) 科学展示部

本社(京都) TEL(075)621-2225(代)
東京営業所 TEL (03)253-2861(代)

「見る」から「参加する。」
博物館づくりを提案します。

UCHIDA

ユークラス
UCMS
UCHIDA CULTURE MUSEUM SYSTEM

内田洋行 教育機器事業部
東京・大阪・札幌・福岡

東京営業部/本部 〒104 東京都中央区新川2-4-7 ☎03(555)4194

鉱物標本専門(大学・博物館向け)
分析・鑑定部門併設

株式会社 **鉱物科学研究所**

〒176 東京都練馬区豊玉中4-18
電話 03-993-1418
ココサ イシイワ

新年おめでとうございます

超大型写真づくりで40年。

私たちは、きびしい要求をひとつつ消化してきました

クリエイティブ・フォト



株式会社

ササオ

〒110 東京都台東区台東1-32-2 ☎(03)834-3565代

斬新な企画とアイデアで科学をディスプレイする。
Science & Display これが目標です。



株式
会社

サテイト

東京都渋谷区神宮前3-10-12
TEL. (03)478-0055(代表)

各種プラント・施設・設備・機器精密模型、
展示用・実験用・教材用模型の設計・製作

株式
会社 **サンテック**

〒273 千葉県船橋市本町2-2-7
電話 (0474)33-4511(代表)

空間に「夢」と「心」を演出する……



SANWA ADVERTISING

三和アドバタイジング(株)三和通信社

本社 東京都中央区八重洲2-6-7(〒104)
電話 (03)281-1051(代)

教育用理化学器械・展示用大型実験装置



島津理化学器械

〒101 東京都千代田区内神田1-16-10
TEL (03) 295-0210

トータルメディア

株式会社 開発研究所

本社
〒104 東京都中央区八重洲2丁目2番7号 電話03-276-8181大代表

分室
〒113 東京都文京区湯島1丁目7番9号 お茶の水ウチヤマビル 電話03-818-2811

- 博物館
- 美術館
- 百貨店

**製作・施工
企画・設計**

展示器材の総合プランニングメーカー

東京建材株式会社

本社・工場：東京都杉並区堀ノ内2-4-20
Tel：03-311-1146~9 (〒166)

マリス

子供達の限りなき可能性の扉を
あたたかく開き続けて行きたい。

サイエンスコミュニケーター

東京前川科学株式会社

〒101 東京都千代田区神田多町2-1 (03) 254-2604 (代)
東京・大阪・札幌・福岡・京都

過去を現代に / 現代を未来へ / 伝えたい

やさしいコミュニケーション

私達は博物館システムをトータルで提案します。



システム技術
株式会社 **東和エンジニアリング**

本社/東京都千代田区神田佐久間町1-9 ☎03(255)1665(代表) 101
支店/大阪 営業所/北海道・筑波・埼玉・千葉・東京・西東京・広島

壁面展示を演出・空間に吊る・(釘打ち不用)

コレゾーライン

ピクチャーレール PAT, PD (フィラティー・シグマ応用)

(製造元)

株式
会社

中村多喜弥商店

NAKAMURA TAKIYA CO., LTD

- 本社：〒542 大阪市南区島之内1-10-12
☎06-253-0331(代) ファクス06(253)0339
- 東京営業所：〒135 東京都江東区三好3-8-15
☎03-642-3801(代) ファクス03(543)0096

新年おめでとうございます

Design & Construction Specialist since 1917 **NAKATEN**

生きている博物館づくりに
65年の実績がお応えします。

中村展設株式会社

〒130 東京都墨田区両国2-9-8 ☎03(634)6201(大代) 支社/大阪・千葉

WORK JOY



Hakusuisha

株式会社 白水社
東京/〒103 東京都中央区日本橋茅場町2-2-8
Phone.03(669)1221(代)
大阪/〒542 大阪市南区東清水町54
Phone.06(252)4501(代)

ユニークな企画と
定評ある表現技術



〒607 京都市山科区 柳辻池尻町48-4
TEL.京都(075)594-0181(代) FAX.(075)593-2384

パブリックスペースをDISPLAYする
企画・設計・施工のエキスパート



株式会社フジヤ
マーケティング室
●東京(03)564-1156 ●大阪(06)345-2451 ●名古屋(052)563-4621
札幌・盛岡・仙台・東京・横浜・新潟・金沢・名古屋
京都・大阪・和歌山・神戸・徳島・広島・北九州・福岡

鉱物岩石化石標本
地形模型・歴史科模型
製作

株式会社 ノーベル社

〒113 東京都文京区本郷3-9-5 TEL. 03(811)7381
工場 〒203 東京都東久留米市浅間町3-24-18 TEL.0424(21)2415

展示用・研究資料

鉱物・化石標本専門
凡地学 研究社

東京都文京区千駄木3-33-1
TEL.(821) 6941 〒113

ミュージアムの
未来をみつめています。

NOVAはニューミュージアムの
創造を常に追求します。

NOVA ノバエ芸株式会社・文化施設事業室
本社/東京都中央区八重洲2-6-13
電話/(代表)03-272-0031

プラネタリウム・システム建設のための
資料をおとどけします。ご一報ください。



MINOLTA

ミノルタカメラ株式会社 東京(03)
プラネタリウム営業部 435-5511(代)

しなやかな眼で
感動という芽を育みたい。



DISPLAY & INTERIOR
株式会社ムラヤマ

〒112 東京都文京区後楽2-13-10 Phone: 03-813-1201
東京/横浜/大阪/名古屋/神戸



印刷ロボット・リングラフ
RISOGRAPH



●リングラフは理想科学工業㈱の登録商標です。

理想科学

本社/〒105 東京都港区新橋2-20-15
☎(03)572-8501(代)